

あなたのビジネスをインターネット上でサポート

DGnet URL <http://www.isico.or.jp>

新産業創出のための総合的支援情報誌「イシコ」

ISICO

Ishikawa Sunrise Industries Creation Organization

Vol
09
2001 AUTUMN



巻頭特集

The Broadband

ITルネッサンスの足音が聞こえる
ISHIKAWAブロードバンド最前線

産学官連携情報

トライアングル

大学連携型産業科学技術研究開発プロジェクト(Cat-CVD法)

創造的企業ルポ

21世紀のチャレンジ

五大開発(株) / 小松精練(株)
office MIRAGE / 石川県女性交流開発協同組合

産業創出の支援機関紹介

ZOOM UP SUPPORTER

筑波石川研究交流会

情報化時代のIT活用事例

事例に学ぶ IT戦略

タテマチドットコム

インフォメーション・テーブル

イシコ・トピックス

ITルネッサンスの足音が聞こえる ISHIKAWA ブロードバンド最前線

The Broadband

総務省が7月に発表した平成13年度版「情報通信白書」は、今年を「ブロードバンド(1)元年」と位置づけた。これは、ADSL(2)やFTTH(3)、CATVインターネット(4)など、高速・大容量のネット通信を可能とするブロードバンド・サービスの本格化を受けてのことである。映像や音声など、大容量のデータを通信可能にすることで、新しいサービスやビジネスモデルの登場が期待されるブロードバンドが、果たして日本経済再生のための起爆剤となりうるのか。石川県のブロードバンドの現状をインフラ、ハード、ソフトの三つの側面からレポートする。

- (1) “広帯域”を意味する英語で、通信回線の大容量化、高速化を指す。
- (2) Asymmetric Digital Subscriber Line。電話線に使用されている銅線を利用し、電話回線の10倍以上の伝送速度を出せる技術。上りと下りでは速度が違う。新たな配線工事が不要なことから、今後数年間は、ブロードバンドの中心技術として普及が見込まれる。
- (3) Fiber To The Home。通信事業者と家庭や企業を光ファイバーで結ぶ技術。従来の電話線と比べると約150倍のスピードで、将来必要とされるギガビットクラスの超高速通信にも対応できる。
- (4) Cable TVインターネット。ケーブルテレビの番組を提供するための回線を利用してインターネットに接続するサービス。通信速度は、ケーブルテレビ局によって違うがADSLと同程度。



香林坊アトリオ4階のNTTマルチメディアスクエア（金沢市）には、FTTHが導入されており、ブロードバンドコンテンツを楽しむことができる。

ADSLの爆発的普及でブロードバンド時代が幕を開ける

ブロードバンドを実現するインフラの中でも、昨年末頃から急加速で普及しているのがADSLだ。「情報通信白書」によれば、既存の電話線を使うため新たな回線工事を必要としないADSLの加入数は、昨年12月に全国で9,723だったのが、今年4月には112,182と爆発的な勢いを見せる。

石川県内においても数社が展開しており、その一つNTT西日本金沢支店（金沢市）では、今年5月のサービス開始以降、3カ月間の加入数は1,200と順調な滑り出しを見せ、今後は、現在県内8市と野々市町に限定されているサービスエリアの拡大によってさらなる利用者増を見込む。

また、CATVインターネットについても、平成11年から12年にかけて全国における加入数は4倍強に増え、13年3月末には784,000に達した。

CATVを活用したインターネットは、石川県内では現在2社がサービスを提供しており、さらに2社が年内にもサービスを開始する予定だ。8月からは、県内のCATV事業者で最先発の金沢ケーブルテレビ放送（金沢市）がインターネット接続サービス「スペースLAN」の通信速度を従来の1.5Mから最大2Mに増速するなど、サービスの充実を図る。

昨年5月から金沢市内において1年にわたってトライアル事業が行われてきたFTTHも今年7月から実用化され、ブロードバンド・インフラの拡大に向け、各社がしのぎを削る状況が続く。

「情報通信白書」によれば、12年末時点の、日本のインターネット利用者数は4,708万人と、前年比で74%増加しており、さらに、平成17年には8,720万人まで増加すると推定する。

インターネット利用者の91.6%が、いまだナローバンド(5)を利用していることを考えれば、今後ブロードバンドの普及にますます拍車がかかるのは間違いない。

- (5) “狭帯域”を意味する英語で、一般の電話回線（アナログ回線）やISDNを指す。テキストや静止画像の送受信はできても、映像のような大きなデータの送受信は厳しい。

ブロードバンド・サービスの比較（種類 / 速度 / コストの目安 / 特徴） 平成13年8月20日現在

	ADSL		FTTH	CATVインターネット
	NTT西日本 フレッツADSL	Yahoo! JAPAN Yahoo! BB	北陸松下LEC ワイLAN	金沢ケーブルテレビ スペースLAN
下り	最大1.5Mbps	最大8Mbps	最大10Mbps	最大2Mbps
上り	最大512Kbps	最大900Kbps	最大10Mbps	最大512Kbps
初期費用	24,400円～	3,600円	27,900円	20,000円
月額使用料	3,800円	2,830円	30,000円	4,800円
特徴	既存の電話回線をそのまま利用できる。	金沢市の一部地域で9月よりサービス開始の予定	光ファイバーの圧倒的な高速サービスを利用できる。	電話代がかからず、豊富なテレビ番組も楽しむことができる。

「上り」とはユーザーから情報を送る時の速度で、「下り」とはユーザーが情報を受け取る時の速度。この表はあくまでも目安です。詳しくは各サービス会社にお問い合わせください。

県内メーカーでも進むブロードバンドへの対応



アイ・オー・データ機器の無線LANとTV&ビデオキャプチャ

ブロードバンドを実現するインフラ整備が進み、着々とユーザーが拡大する中、県内の電子関連メーカーでは、大容量の情報を高速でやり取りできるブロードバンド時代に対応した製品や技術の開発が活発化している。

パソコン周辺機器を製造、販売するアイ・オー・データ機器（金沢市）では、この8月、ADSLやCATVインターネットの接続に対応した高速ルーター（経路制御装置）を市場に投入した。また、既存の商品の中でも、無線LAN（6）やTV&ビデオキャプチャといった商品の売り上げや問い合わせがこのところ伸びてきているという。

LANと言えば、これまでオフィスなどで使われることが主だったが、ブロードバンドによって快適なインターネット環境が実現すると、家庭でも何台かのパソコンで一度にネットサーフィンを楽しむことができるようになる。無線LANは、面倒な配線工事などが不要で、1階と2階でも簡単にネットワークすることができるため、「ブロードバンドユーザーの増加に伴い、家庭用として需要が増えてきた」と同社では分析する。



ナナオが開発した高解像度ディスプレイ（左）と画像編集システム

映像を編集するTV&ビデオキャプチャも、動画コンテンツの編集には便利な機器で、同社では、「今後もブロードバンド時代のニーズに即した商品を短納期で開発し、商品の拡充に努める」としている。

また、コンピュータ用モニターなど映像関連機器で世界をリードするナナオ（松任市）でも今年春から、「ブロードバンド時代の到来」をテーマに商品開発・販売促進活動を展開している。5月には、今後配信が予想される動画コンテンツを、より精彩に表示できる高解像度ディスプレイを発表。さらに、デジタルビデオ編集システムに新商品を投入、ラインナップ化するなど、ブロードバンド時代における動画コンテンツ編集・制作の一役を担う機器開発を強化している。

FTTHやADSLの普及に伴い、電子機器メーカーにとっては、画像処理などで高い技術が要求されるブロードバンド対応製品が今後の開発競争の中心になると見られる。

（6）LANケーブルを使わずに電波を使って通信を行うLANのこと。

オトショップドットCOMの池田洋一郎氏は、10Mという高速通信を実現するFTTHを活用してのビジネス展開に手応えを感じた。池田氏が販売を手がける高音質の音素材は、医療や福祉の現場をはじめ、子どもの感性を育む教育用素材としても研究が進められている。

<http://www.blackblue.co.jp>



エヌ・プランニングの長田健一氏は、ブロードバンドの導入によって得られるメリットが他社との差別化につながると考える。また、「東京と金沢でもまるで隣のデスクにいるようにデータをやりとりできる」（長田氏）ことから、普及が進めばワークスタイルにも変化をもたらそうだ。

ブロードバンド活用でビジネスはどう変わる？

ブロードバンド時代の到来で、高速・大容量のネット通信が可能になるとビジネスにはどのように活用できるのだろうか。全国に先駆けて、昨年5月から1年間にわたって行われてきた「FTTH金沢トライアル（7）」の参加者の声を聞いてみよう。

サウンドコンテンツの配信や音素材の販売を手がけるオトショップドットCOM（金沢市）も参加企業の一つだ。同社では、今回のトライアルで24bit96KHzの録音が可能システムを使って集めた、川のせせらぎや鳥のさえずりなど自然環境音を、音素材としてネット販売することを試みた。

24bit96KHzの音とは、実際に生で聞く音に限りなく近い音質で、CDで再生される16bit44.1KHzをはるかにしのぐ高音質である。当然、デジタルデータとしての容量は大きい。同社の池田洋一郎代表は、「音素材を買ってもらうのが一番だが、ナローバンドでは無理。光ファイバーならば気軽にダウンロードして試聴することもできるので、販促メディアとして魅力

的なインターネットのメリットを最大限に活用できるようになる」と話す。同社には、トライアル期間中に数社から引き合いが寄せられ、ビジネスの可能性を見いだすことに成功した。

各種印刷物のデザインを手がけるエヌ・プランニング（金沢市）も、ブロードバンドのメリットを体験した。通常、デザイン事務所が制作した印刷用データはMOと呼ばれる光磁気ディスクを使って製版会社に渡される。同社では1日に何回も製版会社までデータを届けたこともあったが、FTTHの利用で数10秒でデータ送信できるようになった。

同社の長田健一代表は、「作業効率のアップや納期の短縮につながり、一度使うと後戻りできない」と語り、地理的制約がなくなることで商圏拡大にも期待を寄せる。

そのほか、トライアルではライブ中継や映画をダウンロードしながら視聴する実験に成功するなど、今後のビジネスモデル開拓に大きな成果を残している。



FTTH金沢トライアルの実験事業の一コマ。グループ（金沢市）で行われたライブをインターネットで生中継した。

（7）NTTグループや松下電器グループによって実施された事業で、金沢市内のSOHOや集合住宅、公共機関などに41回線が引かれ、約120人が参加。参加者は、バス運行情報提供サービスやビデオライブラリーなど各種コンテンツを利用したほか、参加者自身が動画などをふんだんに盛り込んだ大容量のコンテンツを発信した。
URL(<http://www.ch-i.ne.jp/>)

右 パソコンが並ぶものの、デジタルメディアの制作室というよりは、雑誌の編集部といった雰囲気の「展」編集室
 下 アートシティ「展」は、石川県地域情報化実験協議会が進める産学官共同実験事業「いしかわマルチメディア推進プロジェクト」の認定を受けている。
<http://21st.c-art-city.com>



現れるか？ブロードバンド時代のキラコンテンツ

着々とインフラ整備が進む一方で、これからはブロードバンドを利用してどのようなコンテンツを発信するかに注目が集まっている。

「速く、大量に」を可能にする情報通信も、そこで運ぶ情報の中身、つまりコンテンツにおもしろさやビジネス上の有用性がなければ、整備の意味をなさない。ゲーム機や携帯電話がそうであるように、ハードを生かすも殺すも「ソフトやコンテンツ」次第であることは、今やIT関連ビジネスの常識だ。

能登印刷メディア事業本部（金沢市）では、“アート”をキーワードにしたWebサイトであるアートシティ「展」を昨年11月から公開し、インターネット上でのEC（エレクトロニック・コマース＝電子商取引）の可能性を探っている。

アートシティ「展」は、同社が5年前まで自社出版していた美術雑誌をインターネット上で復刊し、併せて全国の美術館、博物館情報を掲載。このほか、「展」注目の作家と題して、県内在住のアーティストの作品とその横顔、プロフィールなどを紹介し、同時に料金を明示して作品の販売も行っている。

同社では、美術工芸品の形、柄、彩色

などをセミオーダーで受注し、作品を制作・販売するサービスも同サイト上で始める予定で、ユーザーとの情報のやり取りを容易にするブロードバンドの普及は、メリットが大きい。

「絵にしても、工芸品にしても、パソコンの前に座る人たちに美術品の良さを知ってもらうには、その質感を正確に再現することが重要です」と、田島和生「展」編集長は言う。

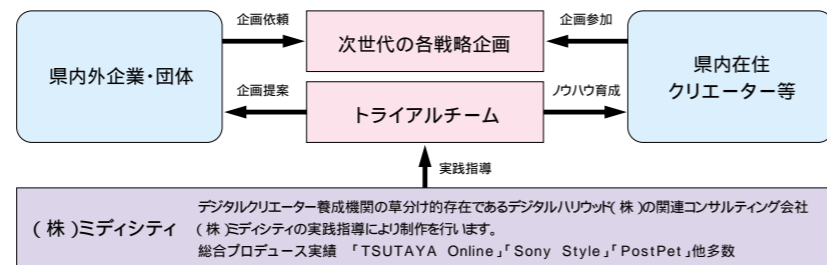
ブロードバンドによる通信データの高速化・大容量化は、映像精度の向上や、さまざまな角度からの動画の送信を可能にすることから、美術品の電子商取引を今後、展開していく上で必要不可欠と同

社では期待を込める。

また、デジタルコンテンツ制作における人材育成を進めようと、7月には「石川県Eビジネストライアル」実行委員会が発足した。同委員会には、県情報システム工業会や印刷・デザイン・映像等にかかわる業界団体と、石川県、県産業創出支援機構、金沢市が参加する。

トライアルでは、起業家・SOHO・フリーランス・学生などから20～30人の参加者を募り、その中から3～4人のチームを編成。企業や自治体から寄せられるITを活用したビジネスモデルの構築などの案件に対して企画提案を行う。人材育成を通してITコンテンツ産業を育成することが狙いだ。

Eビジネストライアルのフロー



「Eビジネストライアル」では、ブロードバンド対応のwebコンテンツなど、ITを活用した次世代型戦略企画を募集しています。また、それらの案件について企画・制作を行うクリエイター、技術スタッフも同時に募集しています。詳しくは、<http://www.isico.or.jp/e-b/trial.htm>

次代の主役はケータイか？携帯端末も大容量・高速時代へ

ADSLをはじめとする有線系サービスに加え、ブロードバンドの波は無線系サービスにも広がりつつある。中でも、日本がハードの技術や普及台数などで世界のトップレベルにある携帯電話において、大容量高速通信を実現する次世代携帯電話サービスの競争が今後活発になりそうだ。

次世代携帯は、第一世代のアナログ方式、第二世代のデジタル方式に次ぐ第三世代携帯電話と呼ばれ、通信速度は最大384Kbps。従来方式の約40倍の速さになる。これによって大容量のデータ通信がスピーディーかつスムーズに行えるようになり、動画を閲覧したり、携帯テレビ電話として使うことが可能になる。

NTTドコモでは、同業他社の先陣を切って次世代携帯電話「FOMA」の試験サービスを今年5月からスタートさせた。

試験サービスは東京23区と横浜、川崎市の一部で実施されており、その後、段階的に提供、拡大される。来年春には全国主要都市へとサービスエリアを広げる予定だ。

気軽に持ち運べる、いつでもどこでも見ることができるといった利点に加え、

携帯端末のブロードバンド化が実現すれば、パソコンからケータイへとIT時代の主役が代わる可能性も秘めている。

ADSLなどの有線系ブロードバンドサービスも含め、今後サービスエリアの拡大や信頼性向上、コストダウンなどいくつかの課題はあるものの、情報通信に大いなる可能性をもたらす“ブロードバンド”は、これからの時代のビジネスを考える上で、無視できないキーワードと言える。



次世代型携帯電話のトップバッターとして試験サービスをスタートした「FOMA」

IT関連投資支援制度	
石川県では、中小企業の情報技術を用いた設備導入を促進するための融資制度を、平成13年4月からさらに利用しやすい内容にしました。	
情報技術活用支援融資（経営革新分）	
融資対象	投資額が1000万円以上で、中小企業経営革新支援法の計画承認を受けたIT投資
融資限度額	3億円
融資期間	設備資金：10年（据置期間3年） 運転資金：7年（据置期間1年）
融資利率	1.30%（平成13年7月2日現在）
お問い合わせ先	石川県商工労働部経営支援課 TEL076-223-9194

情報技術活用支援融資（一般分）	
融資対象	投資額が500万円以上のIT投資
融資限度額	2億円
融資期間	設備資金：10年（据置期間2年） 運転資金：7年（据置期間1年）
融資利率	1.50%（平成13年7月2日現在）
お問い合わせ先	石川県商工労働部経営支援課 TEL076-223-9194

* message



ISICOアドバイザー（情報通信）

金平 勲（右）

得意分野/システム設計・提案・構築
 NTT、NTT-ME勤務を通じ、ほぼ30年近く一貫してマルチメディア、ネットワーク等情報通信技術分野に従事。SE

潤(かん)って、ご存知ですか？

一・十・百・千・万・億・兆・京・垓・杼・穰・溝・澗・正・・・不可思議・無量大数の単位で、10³⁰のことです。ブロードバンド時代になると、自動車や自転車、洗濯機、冷蔵庫にまでIPアドレスが付与されネットワークを通して洗濯機を動かしたり冷蔵庫のビールの数などがわかるようになります。現在、端末に付与できるIPアドレスの容量はIPv4（Internet Protocol Version4）と言われ約43億個（43×10⁸）ですが、世界の人口は約62億ですから、世界中の人に1個づつ与えると足りなくなってしまいます。これをバージョンアップしてIPアドレスを約340澗個（340×10³⁰）とするのが「IPv6」です。ほとんど無限の数といえます「IPv6」への移行が実現すれば、あらゆる物へのIPアドレス付与が可能になり、今まで想像できなかった新しいビジネスチャンスが生まれると思います。アイデアを出してトライしてみませんか。

参考に世界のリアル人口数がわかるサイトです。
<http://www.census.gov/cgi-bin/ipc/popclockw>

“ Cat-CVD法 ”の 研究開発プロジェクトが 地方での産学官連携のポテンシャルを示す

ISICOを管理法人として、平成10年度から北陸先端科学技術大学院大学（JAIST）が民間企業、県工業試験場と共同で進めていた「Cat - CVD法」と呼ばれる半導体用の薄膜形成法の研究開発プロジェクトは、今年3月、実用化の確立に向けた成果を挙げて終了しました。本県に研究開発拠点を置いた産学官連携の成功は、地方発の新産業創出、経済活性化の可能性を示すもので、県内での産学官連携に弾みをつけそうです。



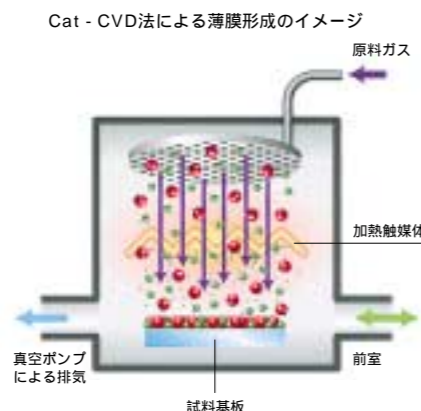
Cat - CVD成膜装置

EXPLANATION

Cat - CVD法の特性と優位性

コンピュータ用の集積回路、液晶ディスプレイ用の薄膜トランジスタといった半導体デバイスには、厚さ1μm以下という極薄の絶縁膜やシリコン膜が使用されている。しかし、近年は半導体デバイスの高性能化、生産性の向上、製造時の環境への負担低減が求められ、多くの半導体デバイスメーカーが用いている「プラズマ化学気相成長法」や「熱化学気相成長法」といった形成技術では、こうしたニーズを満たしきれないのが実情だ。

Cat - CVD（触媒化学気相成長）法は、他の製法の欠点となっていた薄膜形成時の下地へのダメージや経時変化がなく、さらにq薄膜形成のデバイス特性を向上でき、しかもコスト的に有利な低温でできるw薄膜を高速で形成できるe薄膜を広い範囲に均一に形成できるなどの、製品面・製造面での優位性がある。



「学」で生まれた 技術シーズを産業界へ

Cat - CVD法は、JAISTの松村英樹教授が昭和60年、広島大学助教時代に開発した技術で、薄膜形成に触媒を使用している点が特徴だ。原料ガスをシャワーノズルから加熱触媒体に吹きつけることにより、そこで発生する分解種が基板上に薄膜を形成する。

大学で生まれたこの技術シーズを産業界に移転し、応用していくのが、今回のプロジェクトの最大の目的だった。世界的な競争下にあるわが国の情報通信産業の発展に大きな寄与が期待できるとの観点から、NEDO（新エネルギー・産業技術総合開発機構）の委託を受けて、ISICOが研究開発プロジェクトの受け皿となった。

プロジェクトは、松村教授をリーダーとして、JAISTを研究拠点に、アネルバ、京セラ、シグマ光機、ソニー、富士通、松下電器産業、三菱電機、ロームの民間企業8社と県工業試験場が参加。これら民間企業8社と県工業試験場の研究員が松村教授のもとへ派遣され、松村教授を中心



松村教授（前列左から3人目）をはじめとする研究開発プロジェクトのメンバー

に、研究員、大学側スタッフ、学生らが一体となって研究に取り組んだ。ISICOは、研究に関する全体的なサポート役、マネジメント役を務めた。

実用機の開発に向け、 新たな共同研究もスタート

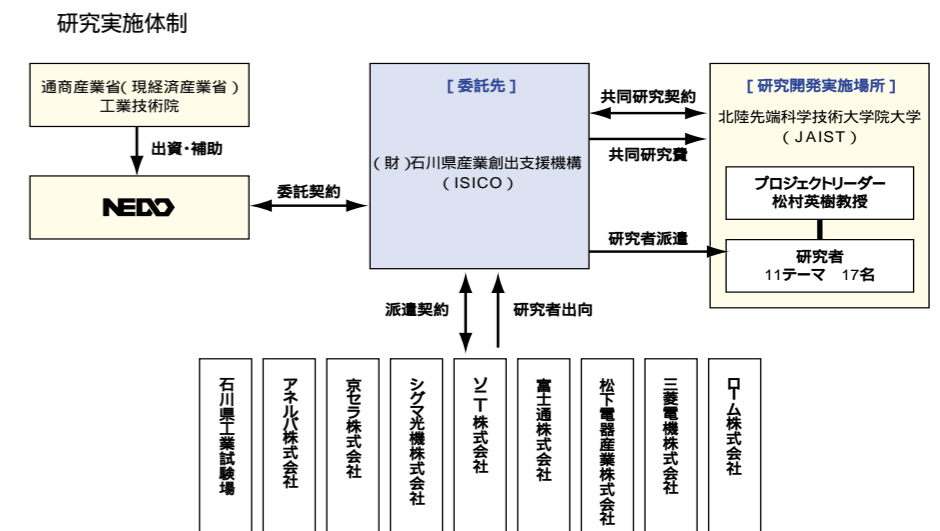
2年半にわたる研究により、Cat - CVD装置の実用化、Cat - CVD法でのガス分解反応・膜堆積機構の解明、大面積成膜の成功など、多くの成果を得た。ちなみに、特許出願は14件に達した。

今後は、実際に生産現場で利用できるCat - CVD装置の実用機の開発や、各種の集積回路への応用、液晶ディスプレイ用高性能薄膜トランジスタの開発、太陽電池製造プロセスへの応用などが期待されている。これらの実用化に向けては、プロジェクト参加の各企業が独自に研究開発を進めているほか、JAISTにおいても民間企業との間で、新たな共同研究が始まっている。

こうした国家プロジェクトの研究推進に地方が主体的かつ自立的に取り組んだのは初めてのケースで、地方のポテンシ

ヤル（潜在能力）の高さを十分に証明することができた。

今回のプロジェクトでの経験は、地元高等教育機関に蓄積されているシーズの掘り起こしや、産業界への技術移転、さらには知的財産の取り扱いなど、今後、新たな研究プロジェクトを運営する上で格好のモデルケースとなったと言える。



NEWS

「豊かさ創造研究開発プロジェクト」 13年度研究テーマ採択

ISICOでは、地域経済の活性化を目指し、さまざまな産学官共同研究プロジェクトをコーディネートしている。その一つである「地域産学官連携 豊かさ創造研究開発プロジェクト推進事業」は、総額1億円の大規模プロジェクトであり、ISICOでは、平成13年度分のテーマとして公募した案件の中から、「多段蒸留方式による有機汚泥ゼロエミッション処理技術の確立」を採択した。プロジェクトリーダーは、金沢大学工学部土木建築工学科教授の金岡千嘉男氏。参加機関は、(株)アクトリー、互洋物産(株)(株)豊商、金沢大学、中部大学、石川県工業試験場となっている。

お問い合わせは

石川県産業創出支援機構
プロジェクト推進部
金沢市戸水町イ65番地
石川県地場産業振興センター新館1階
TEL 076(267)6291
FAX 076(268)4911

Challenge

ベンチャースピリットに触れる。

21世紀のチャレンジ

産業構造の高度化、急速な技術革新が進む中において、企業にとってはビジネスチャンス獲得のために新たなチャレンジが求められています。生き残りをかけ、独自の取り組みを見せる4社を紹介します。

五大開発(株)

技術者とメーカーを結び「B to B」システムを開発

五大開発が3年前に立ち上げた、土木・防災ネットワークサービス「Offer(オファー)」は、会員はこの1年で約6000人に倍増した。

Offerは、建設関係の技術者を主とする会員と建設資材などのメーカーをインターネットで結び、「B to B(企業間取引)」を実践するシステム。会員登録は無料で、運営はメーカー側の広告費でまかなう。

会員にとって最大のメリットは、最新の製品情報をリアルタイムで得られることだ。また、工法の比較表や、土木計算を行うシステムも簡単にダウンロードして利用できる。Eメールで資料をメーカーに請求することも可能で、そこから取引が成立すれば、広告主であるメーカーにも利益が生まれる。

同社がこうしたネットワーク事業に乗り出した技術的背景には、土木業界で培った豊富な建設コンサルティング実績に加え、社内ソ

フトの自社開発の積み重ねがある。同業界で、両方の技術を兼ね備えた企業は少ない。同社の経験と知識、そして新技術をより効果的に生かすには、ITは絶好の戦略だった。

土木業界のIT化でさらなる飛躍を目指す

平成16年度からは国土交通省のCALS/ECが導入され、同業界にもIT化の波が迫る。同様のサービスを行う会社もある中、石川通社長は「当社の目標は土木・防災分野で特化し、ニッチ市場を独占すること。経験と実績で、他社との差別化は十分可能」と胸を張る。

同業界は、公共事業の削減によって厳しい時代を迎えるが、「防災」「維持」「環境」の3分野に限り、発展が見込まれている。同社は、「防災」分野についてのネットワーク化を実現したことで、目標の第一段階に到達した。今後は「維持」「環境」分野で同様のネットワークサービスを立ち上げ、拡大を目指す。

ベンチャー



DATA	
本社	金沢市黒田1-35 TEL 076-240-6588
代表者	石川 通
設立	昭和40年3月
資本金	4,000万円
社員数	74名
事業内容	土木・防災ネットワークサービスサイト「Offer」の運営/土木・防災を主とする測量・調査・設計等の建設コンサルタント業務及びシステム・ソフトの開発
Offer URL	http://www.offer.ne.jp

office MIRAGE

趣味の延長がビジネスに発展

「office MIRAGE」代表の安原益美氏が現在のビジネスの端緒となるインターネットを始めたのは、夫の使わなくなったパソコンを活用したいと考えたからだったという。独学で知識を身に付けて、自分のホームページを開発し、多くの人に見てほしいと工夫を凝らすうち、アクセス数が増えて、人気のページになった。そんな安原氏の元に、パナー広告やWeb制作の依頼が次第に舞い込むようになり、「これは商売になるかもしれない」と気付いたという。

そこで、東京や大阪などのネット仲間を技術面のスタッフとし、自らは主に企画と制作管理を受け持つ形で、Web制作のSOHO事業を立ち上げた。スタッフ同士のやり取りは、ネット上のメールやチャットを中心に、遠隔地にいるメンバーとの顔合わせを月1、2回に抑えて、作業効率を高めている。

Web運営のノウハウが武器

同社が他のWeb制作会社と違うのは、単なる企画制作にとどまらず、サイトの運営管理やコンサルティングまで、全体をサポートする点だ。

例えば、ある自治体の助成金制度をPRするサイトを手掛けた際、利用可能性のある団体や学校をピックアップし、案内をメール配信するプランを提案した。安原氏のサイト運営経験から生まれたこのアイデアは、ネットワークを活用した自治体の新たな試みとして注目を集めている。

「最近では、一からページを作るよりも、アクセスを増やすためのリメイクの依頼などが増えてきた」と、安原氏は話し、今後も、IT環境の変化を注意深く見守りながら、在宅ワーカーの支援などの事業を展開させていきたい考えだ。

SOHO



DATA	
事務所	金沢市戸水町イ77番地1 いしかわSOHOプラザ クリエイションオフィス内 TEL 090-4324-0187
代表者	安原 益美
設立	平成11年
社員数	1人
事業内容	Web制作全般(企画・運営管理・コンサルタント) 在宅ワーカーネットワークの支援
URL	http://www.mirage-jp.com/

小松精練(株)

独自技術を生かして機能性ユニホームの製造開始

合繊織物の染色加工を手がける小松精練が、7月からユニホームの製造販売事業に参入した。同社が供給する繊維素材を、子会社でアパレルメーカーのケイス(小松市)が縫製することで、小ロットのオーダーメイドも可能というのが強みである。

もちろんこれまで、ユニホーム素材の提供には実績がある。最終商品の小売り事業は初めての試みとなるが、先発メーカーとの差別化を図るのは、やはり、これまで培ってきた技術力であり、同社が「ワン・ツー・ワン」システムと呼ぶカスタマイゼーションである。

例えば、工場用ならば、汚れが付きにくく落ちやすいユニホームを製造するなど、職種や作業環境に応じて、撥水や防臭、電磁波シールドといった小松精練独自の機能加工を施した素材が強力な武器となる。

市場ニーズを素材開発にフィードバック

また、今回の新事業参入に伴って、ユニホーム製造販売の大手2社とも提携した。デザイナーズブランドをはじめとする両社のカタログ商品も販売ラインアップに加えることで、北陸3県の需要掘り起こしを狙う。

小松精練にとっては、最終消費者へ直接、ユニホームを提供することは、自社のユニホーム向け素材の生産量アップに加えて、市場動向に即応して素材開発を進められるという大きなメリットも生む。

現在、ユニホーム市場では価格の安い中国製品が増加傾向にあるが、同社の中山賢一社長は、「安かろう悪かろうではなく、徹底的に機能性を追求した、付加価値の高いユニホームを提供することで、5年以内に売上10億円を目指す」と自信をのぞかせる。

新分野進出



DATA	
本社	能美郡根上町浜町又167 TEL 0761-55-1111
代表者	中山 賢一
設立	昭和18年10月
資本金	46億8042万円
社員数	1,045人
事業内容	ポリエステル織編物の精練・染色・捺染加工 DIMA(複合薄膜ファブリック)の製造販売
URL	http://www.komatsuseiren.co.jp/

石川県女性交流開発協同組合

女性の着眼点で商品開発を

平成8年に設立された石川県女性交流開発協同組合は、女性経営者の異業種交流団体として、女性の観点からの新製品の開発に取り組んでいる。

例えば、健康グッズとして好評を得ている「のびのびロープ」(写真右下)は、これまで廃棄されていた服生地を端切れなどを再利用し、今年の中小企業メッセに出展予定の簡易茶室「好楽庵」(写真右上)は、能登産の間伐材を建材にしている。

理事長の谷崎とし子氏は、「従来、使われなかった素材や、一般には知られていない石川の特産に着目し、個性的な商品を生み出していきたい」と話す。

他グループとの交流が事業に刺激を生む

同組合では、加入する石川県ニュービジネス

創造化協会の年6回の講習会などにも積極的に参加し、他の異業種グループとの情報交換や交流にも力を入れてきた。家事などで自由な時間を取りづらな女性経営者にとって、講習会は商品開発のヒントを探ったり、人脈を広げてビジネスチャンスをうかがう貴重な場になるからである。

設立から5年、さまざまな商品を生み出してきたが、組合としての販売ルートが確立されていないため、良いアイデアがあっても商品化まで至らなかったり、大口の注文に対応できないケースも多かった。今後は、新たな販路開拓を目指しながら、ヒット商品の開発に取り組んでいく方針だ。



異業種交流グループ



DATA	
事務局	金沢市戸水町イ80 (社)石川県ニュービジネス 創造化協会内 TEL 076-268-1919 FAX 076-268-1929
代表者	谷崎 とし子
設立	平成8年9月
構成員数	11社
事業内容	新製品の共同開発事業、研修会などの交流事業

ZOOM UP SUPPORTER

技術開発からマネジメントまで、石川県産業創出支援機構と力を合わせて、皆さんをサポートする機関や団体をご紹介します。

地元企業と最先端技術を結ぶ ヒューマンネットワーク

筑波石川研究交流会

発 足 昭和63年5月
会 長 立矢 正典
産業技術総合研究所代表研究員
会員数 128名(平成13年7月現在)



今年の総会では、福祉・環境・情報の3班で分科会が開かれた



学園都市内の研究施設を熱心に視察する総会の参加者

技術面で企業の 開発をサポート

「筑波石川研究交流会」は、茨城県にある筑波研究学園都市と県内企業や公設研究機関との技術開発交流を推進する組織だ。企業などから受けた技術相談や指導依頼に応じて、学園都市にある研究機関や教育機関の研究員を紹介したり、共同研究のコーディネートなどを行っている。

このほか、定期的な活動として、学園都市で開く総会と、石川県で開く「サイエンス・アンド・テクノロジーフォーラム」がある。毎年秋に開催する「サイエンス・アンド・テクノロジーフォーラム」は、新世紀を創る産業科学技術戦略などをテーマにした基調講演と、福祉や

環境、機械など専門分野別の研究発表会があり、情報収集や人脈を広げる場としても活用されている。

交流をきっかけに 共同研究を実現

「交流会」の発足は、つくば市が誕生した翌年の昭和63年で、世界の注目が集まる学園都市の優れた科学技術・学術研究を、県の産業活性化に生かすことを目的に設立された。現在、会員は約130名で、学園都市で働く研究員が中心となっている。顔ぶれは、石川県出身者や県に在住経験のある者、配偶者が県出身など、何らかの形で県にかかわりのある人ばかりだ。

これまでの成果の一例としては、県保

健環境センターが、国立環境研究所などとの共同研究によって、河北潟の水質浄化を効率的に行うシステムを開発した。また、県工業試験場も同様に、有機分解される、環境に優しいプラスチックを物質工学工業技術研究所と共同で開発し、実用化に向けて成果を上げている。

今年7月の総会で、新会長に就任した立矢正典氏(産業技術総合研究所代表研究員)は、「人同士の強い結びつき、『ヒューマンネットワーク』があって初めて、こうした技術交流が可能になる。現状では公設の研究機関の利用が目立つが、民間企業にも積極的に利用してもらえよう、フォーラムなどで存在をアピールしていきたい」と今後の発展に意欲を見せた。

Information

平成13年度 サイエンス・アンド・テクノロジーフォーラム開催のお知らせ

今年も、石川県でサイエンス・アンド・テクノロジーフォーラムが開催されます。筑波研究学園都市と交流を深めるチャンスです。どなたでもお気軽にご参加ください。

開催日 11月22日(木)
場所 石川ハイテク交流センター
(辰口町/いしかわサイエンスパーク内)
内容 基調講演、分科会など

お問合せは

石川県つくば科学技術
情報センター
茨城県つくば市千現2丁目1番6号
(株)つくば研究支援センター A26
TEL 0298(58)6139
FAX 0298(58)6157

石川県産業創出支援機構
プロジェクト推進部
金沢市戸水町イ65番地
石川県地場産業振興センター新館1階
TEL 076(267)6291
FAX 076(268)4911



ITをビジネスに
生かすためのポイントは何か。
IT導入の参考としていただくため、
ビジネスにITを積極的に
活用している事例をご紹介します。

今年の1月には、NTTドコモのテレビコマーシャルにも取り上げられ、全国の商店街から注目を集めている。

全国初、iモードに商店街の最新情報を発信

豎町商店街振興組合

タテマチドットコム

豎町商店街振興組合 金沢市豎町94-1 TEL 076(232)2244

タテマチドットコム
<http://www.tatemachi.com>

豎町商店街振興組合
<http://www.tatemachi.or.jp>

30,000件を超えるアクセス 3,000人の会員にメールを配信

豎町商店街振興組合では、全国初の試みとして、同商店街にあるファッションや飲食、雑貨など全234店舗の情報を網羅したホームページを、携帯電話のインターネットサービスである「iモード」で発信している。

「タテマチドットコム」と呼ぶホームページには、イベントや店の情報はもちろん、各店舗の人気商品ランキングや利用者が自由に書き込めるコーナーがあり、10代から20代の若者を中心に、月に3万件を超えるページアクセスがある。会員には、メールマガジンを毎週、携帯端末となるiモードに自動配信している。現在、

3,000人いる会員は、毎月約300人のペースで増えているという。そして、その年齢層も10代から50代までと広がっている。

アクセス件数の増加が 店のモチベーションアップに

昨年7月にサービスを開始した当初は、組合員の中でもホームページに対する認識が低く、参加店舗数は全体の約10%だった。また、リピーターの確保に不可欠な情報の更新もなかったことから、利用者数の低迷が続いた。

このため、メールマガジンや人気商品ランキングなどコンテンツ内容の充実と情報の頻繁な更新に力を入れたところ、アクセス数が増え、それに伴って参加す

る店舗数も急激に伸びていったようだ。

同組合では、コンテンツの制作や情報の更新を外部に委託して行っているが、今年2月からは各店舗が自由に情報を更新できるシステムを導入した。この結果、各店舗が最新の情報をスピーディーに発行することが可能になり、コンテンツ自身の魅力を高めることにもつながっている。

「アクセス件数が増えたことで、店の人が独自に情報更新を行うなど、モチベーションが高くなっている。今後も、楽しいコンテンツづくりを心がけ、もっと多くの人に見てもらえるホームページを目指したい」と、植村まゆみ事務局長は、話している。

このコーナーでは、県内企業の事例を紹介いたします。取り上げてほしい事例等がありましたら、ぜひISICOまでご連絡下さい。

INFORMATION TABLE

インフォメーションテーブル

起業・新分野進出のほか、経営や技術の高度化などに役立つ
情報を紹介するページです。

セミナー 経営力UP、技術力UP等に役立つセミナーのご案内です。

日程	テーマ	場所	時間	費用	お問い合わせ先
9/1(土) ～12/8(土)	石川県民大学校能力開発コース クリエイティブライフ講座「21世紀を迎えて」	小松短期大学 / 103教室	13:30～16:30 9/1,12/8は～16:45	無料 教材費等700円負担	小松短期大学 TEL.0761-44-3500
9/4(火)	中小企業特許講習会・指導相談会 「わかりやすい工業所有権の話」	加賀商工会議所	13:30～17:00	無料	石川県発明協会 TEL.076-267-5996
9/5(水) 6(木)	石川県産業大学経営講座 「ISICOベンチャースクール」パート1	県地場産業振興センター 新館4階・第11研修室	10:00～17:00	1,000円	県産業創出支援機構 TEL.076-267-1001
9/6(木)	衛星通信講座 雇用創出セミナー 「創業のための支援制度情報」	雇用・能力開発機構 石川センター	14:00～16:00	無料	雇用・能力開発機構石川センター TEL.076-222-1731
9/7(金)	金沢工業大学産学連携セミナー	金沢工業大学多目的ホール	13:00～17:00	無料	金沢工業大学研究支援機構事務局 TEL.076-294-6719
9/11(火) 12(水) 13(木)	DMセミナー 「お客様の心を『ギュッ』とつかむ DMのポイント」	七尾サンライフプラザ(11日) 県地場産業振興センター(12日) 小松織物会館(13日)	13:30～16:00	無料	北陸郵政局 郵便営業石川県本部 TEL.076-224-3825
9/17(月)	循環型社会対応講習会 「化学物質管理促進法・ダイオキシン類 対策特別措置法について」	県地場産業振興センター 新館4階・第10研修室	13:00～16:50	無料	県産業創出支援機構 TEL.076-267-1001
9/20(木)	衛星通信講座 雇用創出セミナー 「外部経営資源の活用」	雇用・能力開発機構 石川センター	14:00～16:00	無料	雇用・能力開発機構石川センター TEL.076-222-1731
9/29(土) 30(日)	技術資格認定講習会 「実習・LAN・光ファイバーケーブルコース」	金沢勤労者プラザ	9:00～16:30	下記各費用	情報通信設備協会 北陸地方本部 TEL.076-238-8383
[費用] 会員 / 60,000円、会員以外 / 70,000円、認定料 / 3,000円					
10/1(月)	バーチャルショップ道場 レベルアップコース 「ショップ新装発表会」	県ソフトウェア研修開発センター (県地場産業振興センター新館)	13:30～16:30	3,000円	県産業創出支援機構 TEL.076-267-1001
10/11(木)	循環型社会対応講習会 「建設リサイクル法・廃棄物処理法・ 資源有効利用促進法について」	県地場産業振興センター 新館4階・第10研修室	13:00～16:30	無料	県産業創出支援機構 TEL.076-267-1001
10/12(金)	衛星通信講座 能力開発セミナー 「プロジェクトマネジメントのスキル向上」	雇用・能力開発機構 石川センター	10:00～17:00	3,000円	雇用・能力開発機構石川センター TEL.076-222-1731
10/18(木)	衛星通信講座 雇用創出セミナー 「最新ITビジネス事情(1)消費者向け取引」	雇用・能力開発機構 石川センター	14:00～16:00	無料	雇用・能力開発機構石川センター TEL.076-222-1731
10/22(月) 23(火)	石川県産業大学経営講座 「ISICOベンチャースクール」パート2	県地場産業振興センター 新館4階・第11研修室	10:00～17:00	1,000円	県産業創出支援機構 TEL.076-267-1001
10/25(木)	衛星通信講座 雇用創出セミナー 「最新ITビジネス事情(2)企業間取引」	雇用・能力開発機構 石川センター	14:00～16:00	無料	雇用・能力開発機構石川センター TEL.076-222-1731
11/2(金) ～4(日)	技術資格認定講習会 「LAN設計コース」	金沢勤労者プラザ	9:00～17:00	下記各費用	情報通信設備協会 北陸地方本部 TEL.076-238-8383
[費用] 会員 / 45,000円、会員以外 / 60,000円					
11/5(月)	オープン大学特別講座 「人生この道の果てまで」 ～エッソ副社長から求道の僧へ～	北陸大学	17:00～18:30	1,000円	北陸大学オープン大学 エクステンション事業室 TEL.076-229-6111
11/9(金)	産業大学講座 「革新編物システムによる商品開発Ⅰ・Ⅱ」	トライアル・ラボ (県工業試験場5F)	10:00～16:00	1,000円	県産業創出支援機構 TEL.076-267-1001
11/22(木)	衛星通信講座 雇用創出セミナー 「知的財産を活用するビジネスの視点」	雇用・能力開発機構 石川センター	14:00～16:00	無料	雇用・能力開発機構石川センター TEL.076-222-1731
11/29(木)	衛星通信講座 雇用創出セミナー 「多様化する『働き方』を ニュービジネスに生かす」	雇用・能力開発機構 石川センター	14:00～16:00	無料	雇用・能力開発機構石川センター TEL.076-222-1731

イベント ビジネス関連の各種フェア・シンポジウム等のご案内です。

日程	テーマ	場所	時間	費用	お問い合わせ先
9/6(木) 7(金)	技術ふれあい2001	県工業試験場	9:00～16:20	無料	県工業試験場 TEL.076-267-8081
9/8(土) ～11/11(日)	第18回全国都市緑化いしかわフェア	兼六園周辺文化ゾーン	9:30～17:00	下記各費用	全国都市緑化いしかわフェア 実行委員会事務局 TEL.076-261-0101
[当日券] 大人 / 1,500円、小人 / 700円、高齢者 / 800円					
9/12(水) ～14(金)	中小企業ビジネス・メッセ2001	インテックス大阪 (大阪国際経済見本市会場)	10:00～17:00 (最終日は～16:00)	無料	中小企業異業種交流財団 TEL.03-3584-0707
9/14(金) ～16(日)	2001年度砥粒加工学会 学術講演会	金沢工業大学多目的ホール	8:00～18:00	無料	金沢工業大学研究支援機構事務局 TEL.076-294-6719
10/19(金) ～21(日)	第37回石川県発明くふう展	県地場産業振興センター 本館2階 第1・第2研修室	9:00～17:00	無料	石川県発明協会 TEL.076-267-5996
10/31(水) ～11/2(金)	中小企業ビジネス・メッセ2001	東京ビッグサイト (東5ホール)	10:00～17:00 (最終日は～16:00)	無料	中小企業異業種交流財団 TEL.03-3584-0707
11/1(木) ～11/4(日)	ネクストフーズいしかわ2001	石川県産業展示館4号館	9:00～17:00	1,000円 11/3・4は無料	ネクストフーズいしかわ実行委員会 TEL.076-268-2400
11/3(土)	イタリアコレクション・インいしかわ	県地場産業振興センター本館 (大ホール)	15:30～	無料	石川県織織協会 TEL.076-267-2171

「民間ITインキュベート施設」の認定について

当支援機構では、SOHO事業者の起業促進とコラボレーション(事業連携)を図る環境を実現することを目的に、民間の賃貸オフィス等で一定の条件を備えている施設を「民間ITインキュベート施設」として認定する制度を創設し、認定施設を公募してまいりました。このたび「民間ITインキュベート施設」認定審査会を経て、認定施設が決定しましたので、お知らせいたします。

()助成内容 機器購入等 320,000円以内
通信費等 月額15,000円以内

に対し、入居時に必要なパソコン機器や什器備品、通信費等の経費助成制度()があります。ビジネスプランの審査を経て、予算の範囲内で助成いたします。家賃等の詳細につきましては、個々の施設までお問い合わせください。

アーバンガーデン	[通信環境] インターネット専用回線128Kbps設備、各個室にLANケーブル配線済み(各室間ネットワークセキュリティ完備) [部屋数等] 部屋数 / 10室 入居区画面積 / 約30～35m ² [所在地] 金沢市菊川2-25-1(思案橋バス停前) TEL.076-261-1011 FAX.076-261-3218
BELSEL WAVE FACTORY	[通信環境] FTTHによる10Mbpsの通信設備(インターネットは1.5Mbps) [部屋数等] 部屋数 / 10室 入居区画面積 / 約5～7m ² [所在地] 金沢市野町24番地(タテマチストリート内) TEL.076-265-3101 FAX.076-265-3102
I・M・A Information Management Alice	[通信環境] 構内LAN バックボーン128Kbps専用線接続済み・ADSL導入準備中(1.5Mbps) [部屋数等] 部屋数 / 13室(ドミトリー5室、事務所形式8室) 入居区画面積 / 10～12畳(ドミトリー) 5.9坪～42.7坪(事務所形式) [所在地] 金沢市円光寺本町8-50(円光寺住宅地) TEL.076-280-1001 FAX.076-280-1002
ドットSOHOプラザ	[通信環境] インターネット専用線128Kbps接続済み・ADSL導入準備中(1.5Mbps) [部屋数等] 部屋数 / 7室 入居区画面積 / 4.5畳～6畳 [所在地] 羽咋市川原町子169番地(JR羽咋駅前) TEL.0767-22-8222 FAX.0767-22-8223

県内ベンチャーと投資家のかけ橋に

石川ベンチャーマーケット・ビジネスプラン発表会を開催

8月2日、ISICOの「石川ベンチャーマーケット・ビジネスプラン発表会」が、辰口町の石川ハイテク交流センターで開かれ、県内外の金融機関やベンチャーキャピタルなど約20社が会場に詰め掛けた。

県内で活動するベンチャー企業に、投資家やビジネスパートナーとの出会いの場を提供する目的で、今年度からベンチャー育成の強化を図るため、年4回の開催となった。

当日は、ISICOが運営する「いしかわクリエイトラボ」に入居する、バイオ技研工業(株)(有)タイムリー、(株)サーキット・ウェブ、(株)エンバイオテック・ラボラトリーズの4社が、ビジネスプランを発表し、支援や資金面での協力を呼びかけた。次回は、11月ごろに開催の予定。



各社が30分の持ち時間の中で、環境テクノロジーやネットワークシステムの構築などの事業プランを発表

環境ビジネスの可能性を探る

環境ビジネス研究会が総会

環境関連産業の育成に向けて、県とISICOが設立した環境ビジネス研究会の13年度総会が、8月1日、金沢市の県地場産業振興センターで開かれ、参加企業の担当者など90名が出席した。

総会では、昨年度の事業報告と今年度の事業計画について話し合われ、セミナーの開催やISICOの情報基盤を活用した情報サービスを行うことなどを決議した後、各部会の活動報告がなされ、それぞれの分野での活発な取り組みの様子が紹介された。

総会後の「エコマーケティング・ラボ」では、共栄大学教授の志築学氏が「環境ニュービジネス～その市場性と戦略を探る」と題して講演した。志築氏は、環境ビジネスの現状と将来性を経営の観点から分析し、リサイクルなどに取り組む企業の実例を挙げながら、環境に配慮した社会システムの中で、民間企業が果たす役割について十分に認識することの必要性を参加者たちに述べた。



参加者たちの熱気が感じられた総会

海洋深層水で 独自の製品開発を

7月、事業化協議会が発足

県海洋深層水利用事業化協議会の発足式は、7月12日、金沢市の県地場産業振興センターで開かれ、参加各社などから100名が参加した。

現在、内浦町の九十九湾沖で、来年度から海洋深層水の本格的な取水開始を予定しており、同会では、利用技術の研究やノウハウの収集、情報交流を行い、石川独自の商品開発とビジネス化を目指す。事務局は県工業試験場に置き、今後、月に1回のペースで会合を開いていく。参加企業数は、食品や化粧品会社など、60～70社に達する見込みとなっている。会への参加希望などのお問い合わせは、県工業試験場(TEL076-267-8080)まで。



発足式に先立ち深層水についてのセミナーも行われた

食品、容器包装

リサイクル法への備えが急務

循環型社会対応講習会開催

ISICOと中小企業総合事業団の主催による「循環型社会対応講習会」が、8月3日、金沢市の県地場産業振興センターで開かれた。会場には、県内の製造業や小売業、自治体の担当者約100名が出席し、食品リサイクル法と容器包装リサイクル法に基づいた、リサイクルの事例や廃棄物の利用技術などについての講習を受けた。

講師を務めた同事業団の増尾英明氏は、「ごみの排出量が少ない一般家庭や小規模事業者なども、社会貢献のため、ごみを減らす努力を行っていくべきだ。今年あたりから準備に入してほしい」と早急な対応を呼びかけた。

ウェブサイト運営と経営診断の 二つの能力を育成

参加者募集! 9月にホームページドクター養成講座

ISICOでは、9月末に開講予定の、ホームページドクター養成講座の受講者を募集している。

ホームページドクターとは、バーチャルショップの運営に関してアドバイスを行う専門家のこと。講座では、第一線で活躍中のホームページドクターやITコンサルタントが、ネットワークの知識・技術や事業の提案能力を身に付けるポイントを分かりやすく解説する。講座修了者には、バーチャルモール「お店ばたけSHIKAWA」のホームページドクターなどとして、活動していただく予定。詳しくは、ISICOリテールサポートセンターまで。

県産業政策課長に石塚氏

石川県は、前任の十時憲司氏の経済産業省への復帰に伴い、平成13年6月1日付で、石塚康志氏を商工労働部産業政策課長に任命した。石塚氏は、



東京大学経済学部を卒業後、平成4年に旧通産省に入り、電気機器課総括班企業係長などを経て、経済産業省の企業行動課長補佐に就いていた。埼玉県出身の32歳。



財団法人
**石川県
産業創出支援
機構**
Ishikawa
Sunrise Industries Creation
Organization

●お問い合わせは

TEL:076(267)1001

FAX:076(268)4911

〒920-0223 石川県金沢市戸水町イ65番地
石川県地場産業振興センター新館1階

URL <http://www.isico.or.jp>

E-mail info@isico.or.jp

編集後記

日々、目まぐるしく進化するIT化を見据え、今回は「ブロードバンド」を巻頭特集に取り上げました。間近に迫るブロードバンド化に対応した新たなビジネス展開がこれからのキーワードとなるかも知れません。今後とも一層、皆様に新鮮な情報が提供できるよう職員一同、努めてまいります。